

発行人 諏訪 榮治郎  
編集 スタッフ一同

# 大船渡だより

「コロナだから…」「コロナだけど…」  
ベースでは、可能な限り地域の方々に寄り添う活動を  
続けてまいります。今月号は街の様子を紹介します。

## 信徒のみなさんと

大船渡教会では、毎週日曜日の10時～11時の間に釜石教会の堀江神父様が待機しておられ、信徒は聖体拝領をすることができます。現在、大船渡教会名物のお茶っちはお休みしています。

前の週の1回目の聖体拝領でお知らせがあったとことで、17日は信徒の皆さんが教会周りの草刈りをしていました。久しぶりに皆さんと顔を合わせ、共同で作業ができたのが楽しかったです。終わった後はほんの少しだけ、屋外でお疲れ様のお茶っちょをしました。



## みなさんを思い出しながら…

山々の木々が緑濃くなってきました。緑に絡んだ藤色も目につき始め、昨年手芸サロンに参加している方々と藤棚見学に行ったことをふと思い出し、陸前高田の米崎町に行ってみることにしました。

滝のように流れる白藤の壁を通り抜けると、50年以上前に植えたという太い幹から、這い上がるように伸びて上を覆う紫色の花が、今年も色濃く見事に咲いていました。庭には甘い香りが漂っていて、蜜を集めに来たハチの羽音があちらこちらで聞こえました。

花を眺めていると、昨年の移動中の車の中はワイワイガヤガヤ賑やかだったこと、藤棚の下でみんなでお茶を飲んだこと、散った花を拾い集め髪に飾ってみたり嬉しそうに持ち帰ったことなど、楽しい思い出がよみがえりました。そして、私達の他にも多くの方々が見学に来ていたことを思い出し、きれいな色と甘い香りに包まれてはいるものの、やはり一人は寂しく感じました。

残念ながら今年は新型コロナウイルスの影響で、サロン活動などがまだできませんが、来年は、またみんなで賑やかに見学できることを願っています。



## こんな時だからこそ…

昨年までは、毎年5月3日に居場所ハウスで『鯉のぼりまつり』が行われており、私達は毎年イベントのお手伝いをしていましたが、今年は中止でした。

5月1日、居場所ハウスに行くとな無人野菜販売所が作られていました。週2～3回、居場所農園で作っている新鮮野菜を販売しているそうです。

居場所ハウスでは緊急事態宣言の解除後、買物送迎や手芸などのサロンを再開しています。館長さんは、「こんな時だからこそ、高齢者を喜ばせることをしたい。」とおっしゃっていました。



## ひっそりとしたゴールデンウィーク



今年のゴールデンウィークは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言が発令されていて、気仙地方もいろいろなイベントが中止になりました。県外からの帰省客や観光客を迎え入れることも出来ずに、観光地や商業施設はひっそりとしていました。

毎年、この時期に基石海岸で開催されている『大船渡観光まつり』も中止となり、インフォメーションセンターの大駐車場やトイレなども閉鎖となり、近隣の食堂も休業していて静まりかえ

っていて、絶景に打ち寄せる波の音だけが聞えていました。

近くの基石浜には、県内の盛岡や平泉のナンバーの車と並んで、宮城やさらに練馬、横浜のナンバーの車もチラホラ見られ、家族連れで初夏の海を楽しむ様子が見られましたが、盛り上がりには欠けました。皮肉なことに、今年のゴールデンウィークは好天続きで、「本来ならば…」と悔しがらる観光・飲食関連のお仕事の方々がとても気の毒でした。早くコロナ禍が終息することを願っています。

## ハナミズキのみち

陸前高田市の海側から山側に延びるシンボルロードに、避難路の目印として植樹されたハナミズキ。『いつかあなたと歩くみちに いのちを守る木を育てたい。』その想いが花開き、沿道が紅白の花で彩られています。

植樹の際は、土中に十分な深さがなく、枯れてしまうのではとの心配の声もありましたが、無事こうして元気に咲くことが出来ました。

ハナミズキがゆっくり確実に育っていくことから、逆境に耐えて花を咲かせるというイメージで、『逆境に耐える愛』という花言葉もあるようです。「私も頑張れたから、あなたも頑張れるよ!」とハナミズキからの声が聞こえました。



## 旧小学校に謎の山…?

以前、三陸鉄道甫嶺駅近くにある旧越喜来小学校の校庭に大きな山を作っているのを目撃しました。一体あれは何だろう?新しい道路でも出来るの?と、気になっていました。その正体は…なんと!東京五輪から新種目となる自転車競技『BMX』の高さ約5mもあるスタート台だったのです。



この程、約370mの一般向け専用コースが完成し、5月9日(土)から運用が始まりました。この日は地元のクラブチームに所属する3歳から7歳の子ども達もこのコースを使って練習し、感触を確かめました。

今後、国際大会を開催できるコースも整備し、今年10月までの完成を目指すとのことです。更に旧体育館には室内コースを、旧校舎は宿泊施設になり、完成すると日本初の施設になるとのこと。

ここで国際大会が開催されたら、三陸町で世界トップレベルのBMX競技を目の当たりにすることができます。そして、刺激を受けた気仙の子ども達から、近い将来オリンピック選手が生まれるかも知れません。そうなったら素晴らしいですね。

## 復興の味、応援!

休業や営業時間の短縮など悩ましい状況の中、震災を乗り越えて新しい一歩を踏み出したばかりの飲食店を応援しようと、陸前高田市内の2団体が料理の持ち帰りが可能な飲食店の情報発信を始めました。「なかなか外を出歩けないが、持ち帰りやデリバリーを利用して食事だけでも楽しんでほしい。」とのこと。利用される方が増えてきているようです。



## 2020年5月1日～31日の活動紹介

新型コロナウイルス感染予防対策として、3月から活動を見直しています。

- ◆5月1日～15日  
緊急事態宣言を受け、ベースを閉鎖しました。スタッフは在宅ワークでマスク作り、ベースでは絵葉書作り、電話による状況確認、絵葉書を送付しました。
- ◆5月16日～31日  
緊急事態宣言が解除され、ベースをオープンしました。『玄関先訪問』を再開しました。電話による状況確認や絵葉書の送付を継続しています。『町の様子』の取材も継続し、ブログ、facebookで紹介しています。

## 大船渡市の元中心地の様子 (2020/6/11 撮影)



## ボランティア登録者数

男性 678人  
女性 1391人  
⇒合計 2069人

◆5月1日～5月31日  
ボランティア数  
男性: 0名  
女性: 0名



## <ベースからのお知らせ>

新型コロナウイルス感染予防の為、当分の間、ボランティアさんの受け入れ、サロン・イベントを全て中止とさせていただきます。なお、カリタス南三陸と共催の『東日本大震災応援ツアー2020』も今年度は中止とさせていただきます。